



# この指新聞

メールアドレス

この指とまれHP



《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 Tel 042-564-2883

《デイグループほっと・グループホームりずむ・りずむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2 Tel 042-564-3110

《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp Fax 042-564-2873

## 令和元年のご報告と新年への決意

理事長 鈴木真千子

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。各事業、事故もなく、無事一年終える事ができ、心からほっとしています。

昨年の機関紙に書きましたように、2018年4月の報酬改定により、「放課後等デイサービス事業」は「大幅な報酬減」に見舞われました。子ども達の支援の必要度が「指標」で判定され、利用児童のうち支援「該当」と判定された方の割合が50%を超えるか否かで「事業所」ごとに報酬が決定されるという事になりました。この指とまれの2つの放課後等デイサービス事業所「デイグループほっと」「デイグループぱーく」も、当初、報酬が少ない方になり「スタッフの削減」という形でしか対応できませんでした。色々な働きかけや努力の結果、「ほっと」が半年後、「ぱーく」が一年後少し改善しました。今年4月から、やっと両事業所とも持ち直しましたが、従来の報酬額には届いていません。

小学生から高校生という幅広い年齢層、様々なハンディを持つ利用者を受け入れ利用者の満足度を確保する支援をするにはギリギリの体制を強いられました。「指標」は子供たちの支援の必要性を表す物ではなく、改善を働きかけています。

2018年の報酬改定は「放課後等デイサービス」だけでなく「グループホーム」も「相談支援事業」も報酬が下がりました。そんな中、労務関係など働く人を守る制度が強化されました。望んでいる事であり、うれしい事ですが、報酬収入が下がる中、運営努力に限りのある福祉事業です。どう対応したら良いのか、業務の合理化など方法を模索しています。当法人が大切にしてきた支援の質を守る為、体制を考えていきます。チームワークと信頼関係を大切にしていきます。

支援現場で「それぞれに沿った働きかけ」が利用者の方々の方に届いたとき、大きな安心と自信から利用者自ら歩んでいきます。スタッフは、そこを目指して日々活動していきます。

新しい指導員の育成や、積極的な外部研修の参加など、「スタッフの技量」を上げていく取り組みをしていきます。しかし、「働きかけ」や「技量向上」のためには、「余裕あるスタッフ配置」が必要です。現状の制度の中で、その機会が減ってしまう事を、何より危惧しています。次期報酬改定は、2021年です。様々な方面から厚生労働省に改善策を訴えていきます。

収入が少なく、欲しい物もがまんしてすごしていた時、今年も多額のご寄付を頂きました。古くなった車を買替える事ができました(贈呈式後の写真です)。皆様のご厚意に深く感謝しています。

引き続き皆様からのご理解ご支援をお願いします。



## 放課後等デイサービス事業

### ☀️ デイグループほっと ☀️

この指とまれのデイでは、基本的には自分たちで遊びを決めて過ごします。一方で、視界を広げていくきっかけとして、プログラムを組んで過ごす日もあります。今年は新たな挑戦として、「外食」「カレー作り」をしました。

外食の日は、「マクドナルド」「山田うどん」のどちらに行くかを選んでもらい、メニューを事前に決めて行きました。家族ではなく、友達やスタッフとの外食に、子どもたちは大喜びでした。

カレー作りは、長時間の活動になる夏休みに、各曜日でそれぞれ行いました。食事作りは今まで焼きそばのみでしたが、火を使った調理に挑戦してみました。皆で話し合い、カボチャ・コーン・さつまいも・ほうれん草(!)など毎回ちょっと変わった材料を入れる事にしました。買い物から調理まで、皆で役割分担しつつ、おいしいカレーができました。

今年は5名が高校卒業を迎え、同時に放課後デイも卒業していきました。小学校1年生から通っていた2名も含め、長く利用していた子たちが抜けていき、デイの雰囲気も大きく変わりました。

昨今の潮流なのか、市内の特別支援学級に通う子の割合が増え、より幅広い子どもたちが集まる事となりました。皆が楽しめるように工夫しながら、新しい活動を取り入れていきたいと考えています。(佐藤森)



### 🌀 デイグループぱーく 🌀

元気入室してくると、各自がやりたい遊びを自由に遊びだします。おもちゃを取ったり取られたりする中で、友達との関わり方を身につけたり、上級生と過ごす中で遊びの種類が増えたり、各々が成長しながら楽しい時間を過ごしています。

活動時間が長い夏休みにはおやつ作りをしました。かき氷やチョコバナナ、プリンアラモードなど簡単なものではありませんが、一人一人役割分担して作りおいしくいただきました。食べ物を作るとなると、目がキラキラし表情が違う子供たちでした。外出も企画し、車では六都科学館と南極北極科学館へ出かけました。中学生以上は、初めて電車を使って出かけることを体験してみました。ワクワク感だけではなく不安な点もありましたが、子供たちにとっては良い経験になり、ICカードの使い方、切符の買い方、電車の乗り換えなど普段できないことを体験できました。何より電車の中のマナーが良く、モノレールに乗った際に外を見て「高いね！」と笑顔で喜んでいる子の光景は、印象に残りました。

1年間色々なことを通して、スタッフも子供たちから学ぶことも多々あります。スタッフ間同士の連携等、課題は残りますが、大きなけがもなく無事に1年が終わることを嬉しく思います。(木原則子)



## 指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

相談支援にし ☁️🌈 (平成27年から福祉支援の受給決定に支援計画作成が必要となりました)

契約者数は児童31名、成人24名、合計55名(昨年は45名)となりました。相談支援専門員2名が揃うのが週1日なので、その他の日は鈴木が兼任でこなしています。ご本人の気持ちに沿い、支援の現場に伺い、一緒に考えていけるよう努めていますが、丁寧に対応していく為にはそろそろ限度の人数です。相談支援事業所が毎月部会を開いています。具体的な問題解決だけでなく、地域全体の福祉を考える機会を得る事が出来、勉強させていただいています。やりがいのある仕事です。(鈴木真千子)

## 共同生活援助事業・短期入所事業

### 🏠グループホームりすむ・りすむショートステイ🏠

今年度は6月中旬から土曜日・日曜日も開所となり、3名の方が利用されています。日中の余暇の時間帯は各自、自分の時間として過ごされています。

9月にはお隣の清水神社で行われたお祭りにみんなで参加しました。昼間は山車を引っ張り、夜は踊りの先生方とやぐらの上で楽しむ事が出来ました。地域の方に顔と名前を知って頂く機会にもなりました。

10月には、一泊二日の伊豆旅行に行きました。天気にも恵まれ、リフトで大室山～シャボテン公園～熱海海岸 etc…秋を満喫してきました♪（暑くて半そでになりましたが…。）利用者同士の気遣いが随所に見られ、10月から入所された方を含めカラオケで歌って踊り、充実した時間が過ごせました。帰宅後からは、利用者の方達で、来年に向けての計画がスタートしました♪

日常では見られない利用者の表情・行動・言葉など発見！？出来たので、今後の生活につなげていければと思います。（高谷明美）



《以下二事業は、NPO法人リサイクルショップ「らら」の補助を受け運営しています》

### 青年活動(高校生以上)

#### さんなくらぶ OB・OG会

親の会が主催している活動です。参加者で意見を募りプログラムを決め、主体的な良い内容の活動をする事ができました。職員不足の影響により、残念ながら定期の活動は2019年3月をもって休止となりました。

が、「年々増えていく卒業生と会える場が欲しい」と考え、今後はOB・OG会として、デイを卒業した方々を中心に、年数回集まろうという話になりました。そして、9月にはカラオケにでかけました。不定期ではありますが、今後も行いますので、卒業生はぜひご連絡ください。（佐藤森）



### 個別音楽療法♪

土曜日の午後に行っています。今年度も、前年度と同様、7名（デイ利用3名・卒業生4名）の方が個別音楽療法に参加されました。担当スタッフは、3人で交代して行っています。

スタッフは、一人一人の実態や目標に合ったプログラムを考え、セッション時には一人一人を受容することを心掛けています。その結果、安心できる環境の中で、のびのびと自分を表現し、成長していく姿を見ることができました。

担当スタッフが少ないため、新規の方の受け入れは現状難しいところですが、興味のある方はご連絡ください。（横田愛）

### 会の行事

現在この指とまれでは法人全体の行事として夏のワークショップ、3月に卒業と成人を祝う会を行っています。

今年度は8月3日土曜日に東大和市中央公民館にて東村山の『Sara's mind』を招いて、和楽器ワークショップを行いました。

三味線や琴、尺八などの迫力ある生演奏で盛り上がり、子供や親御さんも普段触れる事のできない楽器を弾くという体験ができ、楽しい時間を送る事ができました。（嘉村充孝）



## 賛助団体

### NPO 法人「リサイクルショップらら」と福祉祭

「社会福祉法人この指とまれ」が今年も福祉祭に参加しました。「らら」はボランティアで毎年お手伝いをしています。お店にみえるお客様がこの日のテントにも寄ってくださいます。

「らら」で10年20年とボランティアを続けて下さった方々がご都合でおやめになられ、長い間この店を支えて下さったご苦労に心から感謝しております。

これからも《和気あいあい》のお店であるように、がんばります。

NPO 法人「リサイクルショップらら」理事長 千葉總子（令和元年から理事長が交代しました）

\*「リサイクルショップらら」（東大和市南街5-90-8）は「この指とまれ」を支えてくださっている賛助団体です。NPO 法人時代の「この指とまれ」の賛助会員が中心になって構成されています。事業内容は地域の方々から、寄付して頂いた品物をボランティアの方々で販売しています。売り上げを毎年この指とまれに寄付していただいています。設立から21年、地域でのコミュニケーションの場としての役割も生まれてきています。

ご家庭で不要になった品々のご寄付を募っています。

連絡は 042-566-6465 又は、この指まで



#### 寄附のお願い

日頃より、この指とまれの活動にご支援いただきありがとうございます。

この指とまれの、活動の充実と運営のために、皆様からのご寄附を募集しております。

皆さまから頂いたご寄付は、報酬改定による収入減の為、昨年に続き今年も寄付金の一部を運営にまわらせていただき本当に助かっています。又、買いたくても買えなかった品々を買わせていただき、活動に潤いが生まれました。心から御礼申し上げます。

当法人は平成28年9月、「寄附金特別控除法人」に認定されました。この指とまれに寄附して下さった方々が、確定申告の際、税金の控除を受けることができます。又、社会福祉法人へのご寄附の際には「寄附申込書」が必要となります。ホームページから印刷していただくか、ご連絡をいただければ、送付させていただきます。お手数をおかけして申し訳ありませんが、「寄附申込書」にご記入の上郵送又はFAX（1ページ目に記載しています）でご送付ください。よろしく願いいたします。

<振り込み先> 郵便振替口座 00100-9-387225 社会福祉法人この指とまれ

三井住友銀行 東大和支店 普通 口座番号 4263883 社会福祉法人この指とまれ

※現金でも承っております。

#### ●編集後記●

今年度で、機関紙委員発足後4年目のこの指新聞です。月日が過ぎるのは本当にあっという間ですね。

今回は例年の反省点を生かし、原稿作成や発行に向けた準備を早めに取り組み始めました。各事業の担当職員で文章を分担し、余裕を持って完成させる事ができました。

拙い内容ではありますが、読んでいただき、この指とまれの日々の営みを感じていただけると幸いです。(T・Y・S)